

JRIS

鉄道車両－ATS-S 形受信器の試験方法

JRIS J 0582 : 2017

(JARI)

平成 29 年 11 月 1 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	川口 泉	国土交通省鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学名誉教授
	近藤 圭一郎	千葉大学大学院
	古関 隆章	東京大学大学院
	岡本 勲	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	照井 英之	東日本旅客鉄道株式会社
	荻野 智久	東京地下鉄株式会社
	西垣 昌司	株式会社総合車両製作所
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	四方田 圭一	新日鐵住金株式会社
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(顧問)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	岩 滝 雅 人	株式会社日立製作所
(委員)	塚原 克之	川崎重工業株式会社
	中村 修二	日本車輛製造株式会社
	菅野 直哉	近畿車輛株式会社
	新井 静男	株式会社総合車両製作所
	新澤 基彦	新潟トランス株式会社
	土井 裕裕	三菱重工業株式会社
	北林 英朗	株式会社日立製作所
	大前 昭博	東芝インフラシステムズ株式会社
	塩見 省吾	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機システムズ株式会社
	佐々木 敏夫	東洋電機製造株式会社
	四方田 圭一	新日鐵住金株式会社
	藤原 達雄	ナブテスコ株式会社
	平本 正幸	日本信号株式会社
	鈴木 静男	株式会社京三製作所
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	守谷 文康	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長
 掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>
 発 行 者 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会
 (〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1905 NTT-FAX ;
 03-3257-3200)

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会
 作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 システム構成	2
5 試験	3
5.1 一般事項	3
5.2 試験時の環境条件	3
5.3 試験方法	3
附属書 A (規定) 試験方法	4
附属書 B (参考) 地上子の形状例	7
解 説	8

まえがき

この規格は、**JRS 22204-1E-14AR5C** (ATS-S 形受信器) が 1987 (昭和 62) 年に公的な効力がなくなったのに伴い、その技術的内容を継続して利用することができるように、試験の方法に着目して見直しの後“日本鉄道車輛工業会 (以下、鉄車工という。) 規格の制定等に関する規程”の規定に基づき“基準整備委員会”及び“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権にかかわる確認について、責任はもたない。

JRIS “J シリーズ” 制定の背景

日本国有鉄道が制定した鉄道に関わる規格 (**JRS**) は、1987 (昭和 62) 年の国鉄の分割民営化時点で、公的な効力が終了し、以後、この規格を維持管理する体制がなくなった。しかし、鉄道車両の分野においては、この **JRS** の規定内容を該当する仕様書又は図面中に再掲する方法で活用する例が数多くある。

そこで、鉄道車両の分野で、今後も継続して利用する可能性の高い **JRS** の内容は、現在の技術レベルでの見直しを行った後に、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、“J シリーズ”として区分し、製品のグループ別に区切って番号を割り当てる方法を採用している。したがって、従来の **JRS** 番号との関連はない。

JRIS は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成している。

この規格の“J シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“R”、“W”シリーズがある。

鉄道車両—ATS-S 形受信器の試験方法

Rolling stock – Test methods of ATS-S type receiver

1 適用範囲

この規格は、変周式の ATS-S 形を含む、軌間に設置した地上子の共振周波数を制御情報とする地点伝送システムの、車上受信器の地上子検知性能の試験方法及び前提となる地上子の性能について規定する。

なお、車上受信器の一般的な仕様は、この規格では規定しないので、別途、受渡当事者間で協定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。

これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS E 1201 プレテンション式 PC まくらぎ
- JIS E 1202 ポストテンション式 PC まくらぎ
- JIS E 3013 鉄道信号保安用語
- JIS E 4001 鉄道車両—用語
- JIS Z 8703 試験場所の標準状態
- JRIS J 0581 鉄道車両—ATS-S 形車上子
- JRIS J 1035 鉄道車両—ポリエチレン信号ケーブル

規格概要につき以下は省略する。